

# 平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

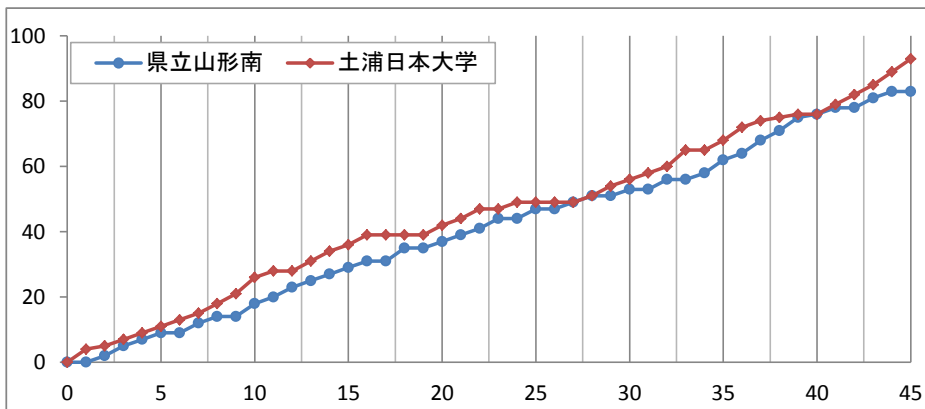
男子 2回戦  
主審 山崎 仁士  
副審 伊藤 彰二

県立山形南 83 (山形) ●

93 土浦日本大学 ○ (茨城)

18 - 26  
19 - 16  
16 - 14  
23 - 20  
7 - 17

No. 30a4 日時: 2013年7月30日(火) 15:00 会場: 別府アリーナ



## 県立山形南

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 阿部 龍星 (C)	19	0	8	3	1
5	* 村上 駿斗	31	5	4	8	2
6	遠藤 卓	6	0	1	4	4
7	* 湊谷 歩	11	1	4	0	3
8	* 安孫子 一道	0	0	0	0	2
9	高橋 朝陽	-	-	-	-	-
10	阿部 拓馬	-	-	-	-	-
11	大戸 克俊	-	-	-	-	-
12	* 前田 悟	14	2	4	0	0
13	三浦 望	-	-	-	-	-
14	仁藤 洸太	2	0	1	0	0
15	後藤 大輝	-	-	-	-	-
コーチ	細谷 尚寿					
合計		83	8	22	15	12

## 土浦日本大学

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 山崎 拓 (C)	32	5	6	5	1
5	* 上山 敦士	11	0	5	1	3
6	吉田 恭平	1	0	0	1	1
7	天利 和輝	-	-	-	-	-
8	* 本村 亮輔	15	0	7	1	2
9	佐加井 圭市	-	-	-	-	-
10	* 平岩 玄	4	0	2	0	5
11	* 山崎 純	24	6	3	0	1
12	霜多 龍一	-	-	-	-	-
13	長谷川 智裕	0	0	0	0	0
14	松脇 圭志	6	2	0	0	0
15	軍司 泰人	-	-	-	-	-
コーチ	佐藤 豊					
合計		93	13	23	8	13

\*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

## 戦評

立ち上がり、県立山形南のオールコートマンツーマンに対して、土浦日本大学はオールコート2-3ゾーンで試合開始。土浦日本大学は#5のインサイドシュートで、県立山形南は#5の3Pやドライブにより加点していく。その後も一進一退の攻防が続くが、土浦日本大学#11がブザービーターの3Pを決め、18-26で土浦日本大学が8点リードで第1ピリオド終了。第2ピリオド、県立山形南はDefを3-2ゾーンに変え、#5の3Pや#12のジャンプシュートで3点差まで追上げる。その後、土浦日本大学は#11や#4の3Pで再び突き放し、一時10点差とする。そこで県立山形南は前半1回目のタイムアウトを取り、#7、#4、#14のシュートなどで再び2点差まで追上げる。土浦日本大学は残り20秒の時点で#11の3Pが決まり、前半は県立山形南37-42土浦日本大学で終了。

後半県立山形南は#7の速攻を含む連続ポイントや#12の連続3Pで追上げるが、土浦日本大学は#11や#4のシュートで突き放す。残り3分10秒、#12のシュートが決まり、ついに県立山形南が同点に追いつく。しかし、土浦日本大学も#4の3Pなどで再び突き放す。第3ピリオドは56-53で土浦日本大学が3点のリードを保って終了。第4ピリオド、土浦日本大学が#4や#8のシュートで連続得点。一方、県立山形南は#5の3Pで応酬する。土浦日本大学#4の速攻からのレイアップが決まり9点差となったところで、県立山形南は後半1回目のタイムアウトを取りオールコートマンツーマンであたり始める。その後、県立山形南#6の連続得点などで加点し、残り1分23秒で#5の3Pが決まり、ついに逆転に成功する。しかし、すぐさま土浦日本大学はフリースローで同点として、そのまま延長に突入。延長開始直後、土浦日本大学#14や#4の3Pが連続して決まり、一気に点差を広げる。県立山形南は#4のレイアップや#5の3Pで追いつくが、そのまま土浦日本大学が逃げ切り、93-83で勝利した。

© 2011 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.007a 岡 明弘 (所属) 大分県バスケットボール協会